

倫理 (Ethics)					
本科	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担当
一般科目	必修	2年	2	講義	世良恒夫
【授業の概要】 倫理の目的である「よりよく生きる」とは、はたしてどういう意味なのか。思想・哲学を中心に宗教、心理学などの幅広い知識をも参照しながら考えていく。また、あわせて倫理の直面する現代的な諸課題について概観しておく。					
【授業の進め方】 教科書の項目に沿って、必須の事柄を中心に解説していく。それをもとに、具体的な身の回りの問題を例として、いかにすれば正しい選択ができるのか、あるいはよりよく生きることができるのか、ともに考えていく。自分の頭で考える能力を養うための訓練を随時盛り込んでいく。					
【授業の概要】	【授業項目】	【内 容】			
1回	よく生きることを求めて	倫理とは何か、人間とは何か			
2回	青年期の課題	青年期の特徴と過ごし方			
3回	ギリシャの思想	ソクラテス、プラトン、アリストテレスの哲学			
4回	キリスト教	キリスト教の歴史と教義			
5回	イスラーム	イスラームの歴史と教義			
6回	仏教Ⅰ	仏教の歴史			
7回	仏教Ⅱ	仏教の教義			
8回	中間試験	上記の内容から出題する。			
9回	中間試験の解答、解説 中国の思想	試験の解答と解説を行う。孔子の論語と諸子百家			
10回	日本の風土と伝統	日本の風土と思想の関係			
11回	外来思想の受容	日本に伝わった仏教と儒学			
12回	町人意識のめざめと庶民思想	義理と人情、国学の成立			
13回	西洋思想との出会い	啓蒙思想、キリスト教			
14回	西洋思想との出会い	社会思想、近代的自我			
	期末試験	上記の内容から出題する。			
15回	解答返却など	試験の解答と解説を行う。			
16回	現代の特質と倫理的課題	応用倫理の意義と課題			
17回	人間の尊厳	ルネサンスと宗教改革			
18回	近代科学革命と自然観	経験論と合理論			
19回	自由で平等な社会の実現	社会契約、カント、ヘーゲル、功利主義			
20回	人間性の回復と主体性の確立	社会主義、実存主義、プラグマティズム			
21回	現代思想と人間像	現代思想の意義と内容			
22回	生命への畏敬と社会奉仕	シュヴァイツァー、ガンディー、マザー・テレサ			
23回	中間試験	上記の内容から出題する。			

24 回	中間試験の解答、解説 生命倫理と課題 I	試験の解答と解説を行う。遺伝子操作と生殖革命				
25 回	生命倫理と課題 II	臓器移植と新しい死生観				
26 回	環境倫理と課題	地球環境問題、持続可能な循環型社会				
27 回	家族・地域社会と課題 情報社会と課題	変容する家族関係、男女共同参画社会 情報社会とプライバシーの保護				
28 回	異文化の理解と課題	多文化共生と日本人の国際化				
29 回	人類の福祉と課題	世界平和、地球市民				
	期末試験	上記の内容から出題する。				
30 回	解答返却など	試験の解答と解説を行う。				
【到達目標】	思想・哲学などの幅広い知識を身につけるとともに、倫理的諸課題について、一体何が正しいのか、自分の頭で考えることができるようにする。					
【徳山高専学習・教育目標】	A2	【J A B E E 基準 1(1)】				
【評価法】	中間試験 2 回と期末試験 2 回の平均 (9 0 %) + 学習シートの提出 (1 0 %)					
【テキスト】	『高等学校 改訂版 倫理』(第一学習社) 『倫理ノート 改訂版』(第一学習社) 『改訂版 最新倫理資料集』(第一学習社)					
【関連科目】	心理学、技術者倫理					
【成績欄】	前期中間試験 【 】	前期末試験 【 】	前期成績 【 】	後期中間試験 【 】	後期末試験 【 】	学年末成績 【 】